

教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	神奈川工科大学				
題名・副題	中津川生きものしらべ教室 ～調べてみよう身近な環境～				
月日・時間	2018年8月8日(水)、8月16日(木)				
開催場所	神奈川工科大学、中津川支流の小鮎川				
部会・講師名	水環境部会 吉村美男	参加者数	26名	講師数	20名
写真					
	川へ入る際の安全に注意		親子で生き物捕りに挑戦		
					
	生き物を観察し、触ってみた		捕れたよ!		
成果解説	<p>この教室は、厚木市内の小学生や保護者に身近な河川環境に触れ、生き物採取などの体験を通して自然保護への関心を高めてもらうため恒例開催しています。</p> <p>初日の8日は、台風13号来襲のため川での生き物採集を取りやめ、大学構内で座学に変更しました。大学と環境科学センターの研究者から、生きたエビやザリガニを前に生態の説明を受けた後、手で触って感触を確かめました。当会からは、「つかめる水」の実験を行いました。子どもたちは、その不思議さと水をつかんだ感触に感激した様子でした。</p> <p>次週の16日は、連日の雨で中津川は上流の宮ヶ瀬ダムの放流により増水のため急遽中津川支流の小鮎川の下子鮎川橋付近に調査場所を変更して生き物採集を行ないました。8班編成で講師2名が付き添い、保護者も一緒に川に入って生き物捕りに挑戦しました。捕獲した生き物はアユ、カワムツ、オイカワ、アブラハヤ、ヤゴ、トビケラ等。大学に持ち帰って研究者の説明を受けました。子どもたちは講座が終わった後も捕獲の生き物を観察し続けました。</p>				